

港 湾 経 濟 研 究

港湾と国際複合輸送の展望

日本港湾経済学会年報

No. 24 1986

日本港湾経済学会編

序

日本港湾経済学会会長 北 見 俊 郎

昭和37年に、この学会の創立総会および第1回全国大会が開催されてより、早くも4分の1世紀がたちました。この学会年報の創刊号が刊行されたのは第2回全国大会（東京）時で、前年度大会の研究報告を中心に編集されたザラ紙のタイプ版でした。しかし当時としては、学会創設と共に「年報」が刊行されるのはめずらしいことでもありました。

ここに第25回全国大会を3たび東京でむかえ、「年報」24号が、共通論題「港湾と国際複合輸送の展望」と自由論題、計17氏（うち韓国諸大学会員3氏）もの玉稿を中心に刊行されることは、創刊号に比し正に昔日の感大なるものがあります。もとより学会活動の中で、会員各位の研究発表と「年報」刊行はもっとも中心的なもので、とりわけ今年度は数多くの方々の玉稿がよせられたことは、学会にとって大きなよろこびとせねばなりません。

そのことは単に量的な問題ではなく、「学会」としての質的向上を意味するもので、全く新しい分野ともされた港にかんする社会科学的研究が定着し、深化し、高い社会的評価が与えられつつあることを意味するものと思います。今後ますます会員各位のご指導とご協力によって、この学会の任務が達成されますよう心からお祈り申し上げます。

また、この25年に亘り、会員ならびに関係各位の一方ならぬご努力が歴史の中に秘められていることを覚え深く感謝いたします。さらにご多用の中に玉稿をおよせ下さった方々、日頃の学会運営や「年報」編集などに心くだかれる事務局関係者、さらに大会開催上とくにご盡力下された方々に重ねて厚くお礼を申し上げます。毎年奉仕的に「年報」を印刷して下さる文化印制株式会社にも感謝しつつ、いよいよ学会の盛んなることを深く念じます。

（昭和61年・秋）

目 次

序 北見俊郎

研 究

共通論題

海貨業の総合物流業への脱皮	山田 源次	(1)
A Study on Port-Harbor and International Intermodal Transportation	金在河	(15)
国際複合輸送と港湾機能	市来清也	(31)
国際一貫輸送の進展と港湾問題	山村学	(45)
国際複合輸送の展開と港湾	高橋恵三	(60)

自由論題

関東の船運と東京港	佐藤正夫	(77)
わが国港湾の労働政策と課題	田中省三	(93)
競争効果とX-効率	坂井吉良	(107)
倉庫機能と図書館機能	谷端政嗣	(126)
自動車輸送と港湾機能の変化	遠藤幸子	(141)
機密保護法下の港湾研究	千須和富士夫	(152)
船舶登録国と港湾国の協力	榎本喜三郎	(167)
中共交易と群山港の広域背後地開発に関する研究	朴餅洪	(183)
中国経済体制改革と上海港	高見玄一郎	(201)
産業の多国籍戦略と港湾	日比野光伸	(219)
韓国港湾行政と港湾開発	金洪基	(234)
Canadian International Seaport City and its Socio-cultural History	Tomotane Araki	(252)

書 評

喜多村昌次郎編「港湾シリーズ『港湾労働』」	大森秀雄	(265)
篠原陽一編著「現代の海運」	木村武彦	(270)
北見俊郎・喜多村昌次郎・山上徹編著「港と経済・社会の変貌」	鷹取禎	(275)

学会記録

港湾活性化と都市再開発（第24回）全国大会（大阪港）シンポジウム概要	(280)
第24回全国大会（大阪港）概要	(302)
部会活動状況	(304)
業績リスト	(308)
編集後記	(326)